

- S57 *・訓短大は費用が安く授業の方も充実して非常に良いと思います。
- ・各地区に短大が出来ている様ですが、学科コースによって資格を取るのに実務期間が短縮にならない科がありますが、なるべく卒業した年、あるいは、次年度には受験出来れば良い。
 - 例、2級建築士。(インテリア科、室内?科、デザイン?科)
- S60 *・あまり世間で知られていない学校ですが、教えていただける内容はすばらしいものがあると思います。少ない人数なので濃い内容の勉強ができるのかもしれませんが、もっと宣伝などして、広く知られる様になってもらいたいと思います。小さくおさまっているのは、もったいない事だと思います。
- // *・外部講師による技術指導を行った方が良いと思う。
- ・専門技術を修得していると思わず、つねに先輩に指導してもらおうという気持ちを忘れないようにする。
 - ・シッパイを2度くりかえさない注意をする事。
 - ・中途半ばな考えて動かない事。
 - ・卒業生との一緒に話す機会をもうけた方がよいと思う。
- // *・私は宮城の学校の卒業生です。科目は建築でした。私が職訓短大に入学したときは、4期目だったのですが、学校の方針として職人を育てるのか、専門知識を教え、業種としてのプロを養成するのか、方針が理解できませんでした。私は大工等の職人になるつもりもないのに、強制的に大工仕事をさせられたりしました。いまのことはわかりませんが、私たちのときは単位の選択もなく、全てが必修科目でしたので違う勉強をしたくても、させていただくことができませんでした。
- ・さらに、就職活動のときも地域的に田舎町にあったため、その活動としては精力的にすることはできませんでした。そこで頼りにしたのが学生科で結局そこにきていた会社に就職しましたが、一般の大学卒とのあつかいが全く違い、学歴コンプレックスを感じ退社しました。会社としては、訓練校卒という区別をしたあつかいでしかありませんでした。ようするに、学校としてのイメージは全国どこへ行っても同じだと思います。そのイメージを打破する策、たとえば5年前まであった科は全てなくし、新分野のみの養成をしたりするほうがよいのではないのでしょうか。それか、専門の教官を雇うのではなく、他の大学の先生を呼び、専門知識のレベルアップを図ることがよいのではないのでしょうか。
- // *・校名は変更された方がよいと思います。
- // *・生涯学習(能力開発セミナー) e t c の情報提供がない。
- ・各地区の雇用そく進センター等を利用して短期大学校等の卒業生(卒業学校関係なく)の交流の場作りをしてほしい。その中で訓練校の講師等を選出して新しい情報等を学生等に教えられる様になればなお良いと思う。
 - ・全国的な卒業生のネットワークづくりをしてほしい。
 - ・各科の名称や内容があまりにも短期間に変わりすぎて卒業生にはついていけない。(校名や各科の名称、カリキュラム等)なぜこんなに長い校名にする必要があるのか。
 - ・学校の知名度をもっと向上する努力をもっと労働省がするべきである。(まだまだ知名度が大変低く)
 - ・各学校によってかなり資格試験の認定等に差がひどい。(小山の建築科卒業生は1級建築士に受験できないが、香川、東京、宮城はできる)など、これはすぐにでも改善が必要。
 - ↳ (建築士認定校に小山ははいっていない)
 - ・訓練指導員の資格等、学校の案内(取得条件)が違っており取得がむずかしい。
 - ・就職先などの確保を確実にしてほしい。(当時はひどかった)
 - ・色々書きましたが、良い学校作りをよろしくお願いします。
- // *・職訓短大は実際に、社会に出てから役立つ講義が目だまだが、2年間という短い期間では十分に理解することが出来なかった。せめて、もう1年間あれば良いと思う。
- // *・今後の職業能力開発太学校及び短期太学校の発展と社会への貢献を願います。
(P.S.履歴書に書く時など学校名が長くて大変と感ずることがあります。)

- S61 *・入学しやすく内容も充実している学校だと思う。ただ、やはり、4年制に比べて時間的な制約が少なからずあると思う。3年制にし、もう少し余裕のある、又十一年を生かした特色ある学校になれば、個性的な学校となり面白いと思う。
- ・在学中、左官の壁組み・壁塗りの実習や、人造石の作成実習等、4年制大学では体験できない内容があったのは、今実際の仕事上直接的に役立つとは言にくいですが、今後もとり入れていくべき内容だと思う。
- S63 *・卒業生名簿をつくって下さい。仕事に対して巾ができますと思います。
- 〃 *・私が学習した学校は、勉強が出来るとても素晴らしい環境で勉強が出来たと思っています。友達も県の内外をとわず多数の人が今でも手紙や、連休の日などに遊びに来ます。また、学校で習ったことも実社会でも十分に役に立っていると思います。
- ・後輩の方々へは、学校での学習時間（二年間）という短いですが、まず、友達を多く作り、そうすれば充実したい学園生活が送れます。それではたのしい学園生活を…。
- 〃 *・私の属している職域（建築、環境デザインでは卒業した学校等による差はない様に思う。大企業ならばその確率は、はっきりと出てくるであろうが、中小企業に属する場合現場と直結しているからである。要は社会にでてからのその職業に対する意欲しだいだと思う。（しかし、自分自身学校の社会的認識、学歴にコンプレックスを感じているのは事実だが）学校での勉強が自分自身身を入れてしたという事も無く怠惰に生活を送っていたと思うが、この学校に入学できる頭（知識）のある人間であれば、仕事をしていく上で学校で学習した事柄が速、業務に結びつかなくても何かのヒントとして仕事にいかされる様に思う。要は学校での学習した事柄をどれだけ記憶しているかではなく、引出せる選択技を多く持ち必要に応じて一つ一つを追求していく事が大切だと思う。つまり常に学習していなければならないと云う事です。職業能力開発大学及び短期大学のシステムで今後も卒業生に対する学習、セミナー等の開催を継続される事を希望します。
- 〃 *・香川職業訓練短大に入学して、在学中は、勉強の難しさや実験・実習のキツさにいつ退学しようかと考えていた事も多々あったが、卒業し社会に出てみて、あの職短に入学し卒業して本当によかったと心から思った。その学習内容の範囲の広さと、理解力をつける学習のおかげで実社会でどれだけ助けられ、上司や同期生からの信用を得られた事か。私が入社2年の頃には、大卒男子よりも給料が良かったのも、ひとえに、職短できたえられ学習した事が役立ったからに他ならない。（私自身も寝る間もおしんで努力しましたけれど…）と思っています。
- ・ポリテクカレッジに変わってからの授業内容はわかりませんが、私は在学中、この学習量ならば、2年は短すぎる、3年くらいがちょうどいい、と思っていました。4年にすると、ダレてしまいますから、中退者が多くなるかも知れません。3年であったなら、もっとじっくり各学科の先生方から、それぞれの研究の事をもっと教えてもらえたのに、と思います。2年では、勉強で手いっぱいでしたから。各先生方との交流もまた、学生時代、大切な、色々な専門知識を教えてもらえるチャンスですから。今だに、もっと教えてもらえばよかったと思っています。
 - ・最近の学生は授業が終わると、カラオケBoxや、ドライブ等に出かけ、先生方の研究室に出入りする事が少なくなっているようで残念な事です。私などは、用もないのに研究室をあちこちハシゴしたのですが…。今の学生達に、少しでも先生方と接点を持って、知識を少しでもぬすんでおいで、と言ってやりたいのですが、もう、そういう時代ではないのかも知れませんね。とりとめもなく、書いてしまいました。お読み下さり有難うございます。
- 〃 *・地域での知名度がかなり低いような気が致します。全国に点在しているので各地域での知名度の向上に努めて頂きたいと思います。
- 〃 *・現在2級建築士として活動していますが、受験資格の面、受験時の基礎知識など、職訓短大で学んだことが役に立ちました。学生時代もっと知識を吸収していれば、現在さらに役に立ったのではないかと、少々後悔しています。

S63 *・短大で学んだことは、職場での実践において時々役にたっています。今、思うことは、もう少しまじめに学業をしておけば良かったということです。社会に出てから学ぶということの難しさは、学生の時には、分かりませんでした。学ぶことの楽しさを学生に理解させるカリキュラムを取り入れたら良いと思います。

// *・私は職訓短大を卒業出来良かったと思っています。短期間でしたが、私的・公的にいろいろ勉強できました。また授業料が安いのがたすかりました。

// *・学校で学ぶ事や学んだ事は決して無駄ではありません。2年間で多くを学ぶ事は大変ですが頑張ってください。

・卒業大学校には少し遠いので卒業後行った事はありませんがいろいろな面で様変わりした様ですね。どの様に変ったのか良くは知りませんが又何かの機会に教えて下さい。

・それから在学中及び就職時他卒業後大変色々な面でお世話になりました。ありがとうございました。

// *・私から一言、言わせて頂ければ、在校中も卒業してからも感じているのですが、[学校名]について、校名は平成5年より改名された様ですが、それでもまだ“職業とか能力”という言葉が入っている。私のイメージとしての、この2つの言葉からは“暗い”“ダサイ”“ジミ”“若者が通う所ではない”とかいうイメージが強く感じられます。21世紀もあとそこまで来ています。もっと“メジャー”な校名に変えてほしい。そうでなくても近づけてほしい…。卒業してから堂堂と言える、言いやすい、校名に……。

// *・私が在学中で学んだ事でいちばん役立っているのは、3現主義です。(会社に入ってからそういう言い方をすることを知ったのですが)“現場で現実に見物を見る”だと思いましたが、実際に実習等で自分自身体験することによって、本の中だけで学習するより体に定着すると思います。文字だけで覚えてもすぐ忘れてしまいます。子供の頃、漢字の勉強をするのに何度も書いて手で覚えたように、実習にも力を入れてカリキュラムを組んだ方がよいと思います。

・また学校主催で、見学会等を開きいろんなものをたくさん見れるようにすると建築科、デザイン科などはよいのではないのでしょうか。

// *・もう8年位前の話だが、自分は宮崎では指おりの進学校だった。国立大に落ちて、どうしても建築がやりたかったので先生に「職業訓練短期大学校」というのもあるが……と言われたが、あまり気が進まなかった。というのも宮崎での職業訓練校というのは主に身障者や、少し知恵おくれの人たちにどうにかして職業できるように訓練させ、社会に出て行ってもらおうという主旨の学校だったからだ。しかし、実際当校に入学すると、まじめな人や一般的に頭の良い人たちが多くいて(建築科しかわからないが)安心したのを思い出す。

Q40にもありますが、例えば他人から『どこの専門学校だったんですか?』と聞かれても胸を張って「職訓短大です」と言えず、『東京の建築専門学校です』くらいにしか言えず少しさびしい気持ちになることがある。たまに私も東京に出張することがあるので友人と会うと、『学校名は人に言えない』という話が出る。

そこで、こんなにすばらしい学校なのに名前のせいでイメージを悪くしていると思います。今までの伝統もあると思いますが、又、国立ということもあってむずかしいとは思いますが、イメージチェンジを計る上でも名前を変えた方がいいと思う。私達が在学の時に比べ少しは…と思うが、基本的な文字の意味、『職業の能力を開発させる』というのは、今までと変わっていないと思う。これは私だけでなく皆そう思っていると思います。この際、アンケートの結果によっては、校名を募集するとか、考える時期ではないのでしょうか。

本当はまだ書きたいのですが、蘭が無くなったので……。大変失礼しました。

// *・データー結果が知りたい。

H3 *・社会に出て感じているのは職訓で学んだ事は、それ自体が即生かすことができるものではないけれど、しっかりとベースになっている。特に他大学、専門よりも（実技）実習項目においてまた部分的に専門的な事に関しては優れていることを学んだと思っています。ただ一般カリキュラムをもっと取入れられれば、社会、文化面に巾をきかせられたと思う。今の社会状況に応じた内容について、もっと近いものがたりなかったと思う。それと選択一般教養科目があれば、自分の興味のあるものも受入れられたのではと思う。しかしながら2年間で、4年制大学生に負けない知識をつけていただけたのは、大変ありがたいことだと思う。授業料だって。

? *・社会人対象の夜学コースがあればと思います。

? *・御苦労様です。

この調査はいいと思います。私は建築科ですが、現在一級建築士として若い人の指導しながら現場監督をしています。私は今の若い人に期待していません。根性がないからです。“クソッ”という根性をうえつけて頂きたい。それと、浅くてかまわない（建築は雑学です）広く教えて頂きたい。必ず役に立ちます。ヨロシク、願います。

? *・この世で生きることは大変だ。学校を卒業してから住まいをかりて一人で暮らしていますが、職も職場も収入至第でかえなくなる。仕事も大変だが職場の対人かんけいも大変だ。生きるために頑張らなければと思う。

・学校は二年では会社がさいょうしない。やはり四年大学にした方がと思う。

? *・学校へ → 学生に“考える力”を与える様な教育をして欲しい。

・後輩へ → “創造性”を持って勉学にはげんで欲しい。

* 建築関係科（建築設備科）

S63 *・今では私の出た科はなくなってしまったが、当時のカリキュラムについて思ったことを書く。

まず課題の出し方だが、期日をくぎって私的時間を使って制作というのが多かった。しかし、むしろ時間をまとめてとってその場で完成させるよう指導した方が技術もつくし効率的である。（教官は大変であろうが）

次にカリキュラムのバランスが悪い。本当に必要な科目が少なく、ほとんどつかえないような内容に時間をつかっている。時代にあわせて毎年カリキュラムを適正化すべきだと思う。また、実習でつかう材料、工法は出来るだけ最新のものにしてほしい。当時習ったものは実際の現場ではほとんどつかえない。常に先端をいっていない内容では技術系の学校としての価値がないと思う。

・最後に後輩たちへ

仕事にしろ勉強にしろやるときは集中していっきにやってしまい、さっさと遊ぼうぜ。いつまでもだらだらとやって「ひまがね～」というのは仕事のできねー奴の言うことだ。

// *・青森県内の会社のほとんどは安い給料、休みもあまりない。ベースアップも上がって何十円というところがある。私の場合こういうお先まっくらというのがいやだったので、とりあえず、この地域でやれるものといえば公務員ぐらいのものしかなく、その中でも簡単に入れる郵便外務の仕事についた。学校で学んだこととはあまり関係のないことではあるが、2年ほど新しい知識を学ぶことができ、またいろいろな人と出会ったことが何よりも、意義あることだったと思う。

・絶対に職訓短大に入学し、卒業して良かったと思う。

* 建築関係科（住居環境科）

H2 *・少人数、低額費、比較的各土地に密着しているという点から設備も充分で、大変学ぶには最良の環境だったと思います。

- ・ただ1つ心のこりなのは、一般大学卒の同学科の人達にくらべ、もう1つ深く学べなかったこと。私自身の努力もありますが、みなさんより高度な課題をこなしていたようです。私の場合建築を学んだのですが、専門分野というものは、学べば学ぶほど奥があると解釈していますので、もっと実習的なものを、をたくさん勉強しておきたかったなと思っています。
- ・ごくごく少ない人数で、各科ひと家族のような雰囲気の中、たのしく勉強できたので、後輩の皆さんには、それに甘んじることなく、一生懸命勉強してもらい、いつまでも先生、友人たちと、コミュニケーションをとってほしいものです。

H3 *・京都職業訓練短期大学の〇〇先生には心から感謝しております。ありがとうございました。

// *・会社に勤めるとどのような問題にぶつかるか予測できる範囲で教えてほしいです。人間のみにくさ、対応のとり方。

// *・私は、今年3月末に前の会社を自己都合により辞めました。3年間勤めましたが、短大で学んで身についた技術は十分発揮することができましたし、それ以上にもっと専門的な技術が身につきました。短大では個人がチャレンジしてみたいことに、大変協力的で私もいろいろな事にチャレンジして自分が本当にやっていきたい事を見いだせる事ができました。先生方も親切で親身になって下さる方ばかりでした。それに沢山の友達ができ、人間的にも成長しました。私は本当に職訓短大に入学できてよかったと思っています。

// *・〇〇せんせーへ（居住の）

ログハウスをはやくかんせいさせて、いっしょに、みんなでのみましよう。

〇〇せんせーへ

元気〜！おいらも元気！きかいがあったら、あいましよう。2級建築士、とりました。

// *・資格取得のための講習会等の充実

訓大（4年制）卒業資格を得るために、通信教育等（2年程度）を行ってほしい。2年制と4年制では扱い方も、人の見方もちがいます。2年間では不充分だったものが、実生活と補足でおぎなうことができ、仕事に対する理解度も増してくると思う。

// *・職業能力開発短大（私が平成3年3月に卒業したころは職業訓練短大）にこれから入学しようとする人は自信をもって安心して入学して下さい。必ず「入学してよかったな」と思いますから。勉強する環境や、施設・設備がとても充実していますので、学習するのにやりやすいと思います。

・行く学校はどこもたいして変わらないと思います。要は自分自身の意識の問題です。専門知識を身につけたいという気持ちです。私がこんなことを言えた義理じゃないのですが、とにかくガンバって下さい。

// *・私は旧（？）職訓短大で、住居環境科において約20名の同期生と2年間、一般科目〜専門科目を学びました。少人数教育では先生方から充分な御指導を頂くことができ、感謝しております。また、卒業研究に入ってから、ゼミを通して学科についてだけでなく、様々なことを先生方から学びました。自分が将来成したいことは何か。人としてどう生きていくのか等々。改めて自分と向き合うきっかけとなりました。ゼミにおいては、学生としてだけではなく、一個人として先生方からアドバイスを頂きました。「仲間」としてお互いを見つめ合って話し合うことが自己啓発の第一歩だった様に思います。Q36にもお答えしてありますが、現在も時折短大へおジャマすることがあります。何故か？授業中は教官と学生としてキチンとした秩序があり、それ以外の時間ではよい人生のアドバイザーとして、先生方が学生達に一步踏み込んで、一個人として接してくれたからです。ゼミは夢の空間であった事を卒業して、社会へ出てから気付きました。同じゼミだった仲間たちとなつかしい時を過ごしに、これからも短大はおジャマしようと思います。

P.S.すみません。時間があまりなく、散文になってしまいました。

H3 *・〇〇〇〇のCADシステムは高いだけで、初心者には使いにくい。あんなものに金をかけるなら、普通のパソコンでのCADで学習させたほうがよい。去年ごろからAutoCADを導入し始めたようだが、AutoLISPの使い方まで教える教官がいるのか疑問だ。AutoCAD・LTをすこし待ってから導入すればよかったのではないかと思う。業界ごとにCADPAC、CADKEY、DRACAD等CADの種類が変わってくるのだし。高校で98など使っていてもDOSさえわからないまま進学してしまう学生が多いのだから、基礎的なハード・ソフトの知識をしっかりと教えないと、職場でとまどう新入社員は減らない。「昔はテープだった。ドラム式だった。」なんて言っている「電算機概論」なんて教科はいらない。FM-Rシリーズもソフトが少ないのに何台もそろえても意味がないと思う。各研究室にももっとパソコンがほしい。

// *・私は住居環境科で学び、科学系の卒業研究をして、ゴム・塩ビ製品製造業の会社に勤めました。会社では新しい分野（電気関係）に進出するため、職訓短大の能力開発セミナー等で電気・電子を学びました。現在は電気製品の設計、デザインをしています。私が職訓短大で学んだことは現在の業務の中で全て役立っていると思います。

// *・専門学科の内容にもっと研修等校外での活動をふやすと良いのではないのでしょうか。

// *・特になし。

・社会にでても努力してガンバってください。

* 土木関係科（総合土木科）

S60 *・自分自身の自覚が不足していたため、在学中の2年間に十分な能力（基礎知識）が取得できなかったことに後悔しています。長いようで短い2年間で大切に過ごしてもらいたい。

// *・私は総合土木科の卒業生ですが、数年前から総合土木科が廃止となり、大変残念に思います。

S63 *・より一層社会に貢献できる卒業生を社会に送り出してください。

// *・もっと専門的な科目を増やして欲しい。

・学校の校名を変えるのは良いが、もっと短くしてほしい。

・施設の充実

* インテリア関係科（インテリア科）

H2 *・正直言って職訓短大はイメージも悪いし、知名度も低いです。だけどそこへ勉強しにくる学生はそんなことにとらわれずに本当に学びたいと思って来るわけです。それを学校側は全く理解していないと思います。全然内容の無い授業はとても苦痛です。私が学生だったころに訓大卒の先生の授業がありましたが時間をムダにさせられるのには本当に困らせられました。←今でも生徒は困ってます。

・短大のいい所は実習があることです。特に私の在籍していたインテリア科では卒業して木工の仕事に就く人はごくわずかではありますが、家具を何点か制作したことはどの分野にいてもとてもいい経験だと思います。むしろ設計など木工ではない仕事に就く人にこそ授けてもらいたいと思います。設計やデザインは他の専門学校で勉強できますが実習は短大でならでは他には無いセールスポイントです。（就職のときなど）

・しかし、訓大で木材加工科が無くなり、木工を教える人を育てる気がなく、また木工の技術を持っている総人口も少ない上、学校で木工を教える人が来年いなくなる為生徒にとってとても不幸なことになると思います。まず先生をどうかしてほしいものです。訓大卒ですぐに事業団に就職し、一般社会（民間企業）で経験のない先生はとらないで欲しいものです。実務経験3年以上程度の人間をとっ

て欲しいです。頭デッカチの中味の無い先生は必要ありません。第一、先生の求人票で4大卒が条件というのは中身の無いことです。4大卒で現場に出て技術を身につける人はとても少ないからです。とりあえずインテリア科に関しては訓大卒はつかいものになりません。生徒がかわいそうです。もっと本物の技術をもっている民間の企業から先生を捜すべきです。今の学校のやり方に本気でおこってきます。

- H3 *・受験するまで職短の存在を知らなかった。60大学〇〇短大は世間に広く知られていると思う。もっと知られていてもいい学校だと思う。
- ・良い仲間が多くできて感謝しています。
 - ・資格試験などで学校の説明をしたり、又（願書の時点で）受験の資格がないことが多くてこまる。
- // *・職訓短大で学んで専門的な知識は、大変社会に出て、仕事の上では役に立つものです。
- ・しかし、他の学校などにくらべて、専門的であるがゆえに、狭いフィールドであったと思います。社会全体や、国際的なものが少なく、高等学校と同じような環境です。個人的に新聞を読んだりして興味をもつようにすることも大切だと思いますが、（短大）学校側でもっと、国際的なものをつくったほうがいいと思います。
 - ・卒業して思ったことは、“世界は広い”ということです。いろいろな人種、ことば、考え方などともっと接しよくできる機会をつくってほしかったと思います。他の大学にはない、専門技術、技能などの国際交流が図れば、もっと充実した学生生活になると思います。（海外からの学生と一緒に学ぶとか）（国際えんじょなど）乱筆で失礼しました。
- // *・短大を卒業していながら、ウエートレスのアルバイトをしているので、とても先生方にはもうし訳ないと思う。でも、いすにすわっているよりも、動き回っているほうが自分にはあっていると思うので、私自身にとっては、良かったと思う。
- // *・就職して今年で4年目になりますが、今でも学ぶことが多く、毎日が勉強のようです。勉強とは言っても失敗が許されないことなので、毎日厳しさを感じております。私の周囲の人達はほとんどが4年生の大学を卒業しており、又男性中心の職場な為、自分の未熟さを感じることの多い毎日です。私自身専門的なことを学んでいれば良いと思いこみ、社会や経済のことにあまり関心を持たずにいた為、会社に入って話についていくことがなかなかできないでいました。少しずつ社会にも目を向けられるようにはなってきましたが学生の頃からもっとしっかり学んでいれば良かったと後悔することも多い毎日です。思った以上に厳しさを実感しております。
- ・学生の方には本当にやりたいことを長く考えて、良く調べて就職してほしいと思います。
- // *・学校で思い出すことは、課題におわれた2年間だったということです。大変だったですが、あれだけ追われなければいけないこともあるかと思いますが、もう少し時間、余裕がほしかったと思います。
- ・卒業生の「能力開発セミナー」が行われていますが、2級建築士の資格取得のために現在通っています。こちらの方がおわれば、又他のセミナーも受けてみたいと思います。
- // *・名前バレチャウかもしれない。表紙の記入項目多いから。それに封筒に番号打ってあるし……。正直恥ずかしいから、同期生とは疎遠になっちゃったけど、少なくとも2年間は転職しないで、会社へばりついてた。自分以外は。
- ・訓練校の授業の密度には、内心悲鳴、GIVE Up寸前だった。悪く言えば、詰め込み授業だった。もう少し選択授業を取り入れてもらいたかった、当時。
 - ・しかし、授業料の安さと、設備の悪さを考えればこんな穴場的なスバラシイ学校はないと思います。

* インテリア関係科（工業工芸デザイン科）

- S60 *・女性として結婚、出産を体験し、仕事に就いていない時期もありましたが、家事、育児の中で「ものをつくる」ことを（学校で）学んだ事は大いに役立っていると思います。

・学生時代をふりかえり二年間という期間の中で、企業に求められるものをすべて習得するのは無理だと思います。しかし、専門的技能を身につけることが母校の最大特色です。出来る事ならば卒業後に自分に足りない能力を得るため、又は仕事で必要になった技術を得るため夜間の講座があるといいと思います。週に一回夜間の講座で勉強することが出来れば、会社に行きながら専門技術を習得することが出来、自己能力の開発に役立つと思います。

S60 *・校名が変わったとの事です、変更前ですら長い名前と思っていたのに、今度の名前は以前にもまして長くなっている。これでは人に言うにも、覚えてもらうにも長すぎであると思う。もっと簡単な名前にすべきである。

S63 *・私の在学していた〇〇短大では（当時）素行不良の生徒たちが我が物顔でのさばって、やりたいほうだいであつたにもかかわらず、問題の表面化を好まない学校側の対応は実におそまつのものであつたため、多くの生徒が泣きねいりをしていました。

私自身、入学まもない頃、上級生らによるリンチまがいの暴行を受けましたが、処分を受けたのはリーダー格の1人だけ（停学処分）だったので残りのとりまき連中から卒業するまで毎日のように陰湿なイヤがらせを受け続けました。その間、学校側はほとんど何もしてくれないどころか、「相手が治療費を出すと言っているんだから、それで納得しておけ」の一言で片づけられてしまいました。実際、何件もの事件がこうしてうやむやにされてしまい、その間処分者はほとんど出ませんでした。名前もはっきり特定していたにもかかわらず！

・私は訓練短大そのものはすばらしい施設ではあると思うし、人にも入学を勧めもしましたが、卒業した短大に関してはいっさい、二度とその全てに関わり合いたくありません。あんな所のOBであると名のつつもりもないどころか、OBなどと呼ばれることさえイヤ気がさします。カリキュラムがどうこう以前に、最低限人間らしい学校生活が送れる場所であって欲しかったです。

〃 *・どんな専門学校、大学でも言えることだが、やはり自分が何を学びたいのか、きちんとした意識と目的を持つのが一番。そうでなければ先生がいくら頑張っても、（学生に「覚えてやろう」という気持が無いなら）意味がないし、授業料も無駄になるだけ。一般の国立大等に入れなかったからくるというのではハッキリ言ってジャマだし、短大のレベルも上がらない。レベル→大学校というのは準大学だと聞いたが、私は卒業後“短大”としてではなく、“専門学校”としてしか見てもらえなかったことがあり、→（今の職場以外で）納得がいかなかった。世間ではまだまだそういう風にしか理解していない人も多いということの表れだと思う。

・入学試験をもう少し難しくして、一定のラインに達しなければ定員に満たなくても合格させないようにしてみてもどうか。また、“先生”ではなく“教授”としての片書きを名乗れるようにしないと、就職活動をフォローする先生方の立場がない。（これは直接先生に聞いた話です→名刺に“教授”とあるかないかで企業の態度がちがうそうです。）このようにして、なんとかレベルを上げていってほしい。

・私自身はデザインの会社に落ち、公務員になったけれども、いろんな商品を見る目（良いデザイン、良くないデザインなど他にも様々な面で）が身についたという意味では役に立っている。もう一度機会があれば、今度はもっと高い意識を持って学び直したいと考えています。

・又、出来れば2年間→4年間にしてほしい。学習内容が中途半端すぎる。（「時間が足りない」とすごく思いながら卒業しました。）

? *・家庭に入り主婦業をしていますと社会の事、職業の事がなかなか情報として入ってくる事はありません。後何年かして子供が手をはなれた時、再就職を考える事が来ると思いますが、その時の事が不安です。もしこれを期にいろいろな職業上の情報でも、資料として送っていただくと（定期的に）大変うれしく思います。

* インテリア関係科 (室内造形科)

S51 * ・私が卒業した時は、第一期生として無名な学校であり、就職についても同期の学生たちも大変苦労した思いがあります。あれから早や18年、私の仕事の関連で、いろいろな会社に出向く機会があり、有望な後輩が大会社ではつらつと働いている姿を見ることがあり、第一期生としてうれしく思うことがあります。

・ただ思うことは、昔とちがい今日ではたくさんの求人があると思いますが、各企業の人事担当者にピーアール不足のような気がします。積極的に職場を開発していく努力が必要ではないでしょうか？

・また、現場では、さいせんたんの機械を使用しています実習で使用される機器等についても、実情にみあったものを使用して訓練されているのでしょうか。

貴大学校の御発展を心より御祈念申し上げます。

// * ・職業訓練短大も含め、私は3つの異なった大学へ行きました。理由は設計、工芸、美術、デザイン異なった分野を一所で学ぶことができなかったからですが、当時インテリアに関する大学は、女子大の家政学部の中に住居学科というのがある以外は、まるで学問の外にあるようでした。

職業訓練短大の第一期生ということもあり、入校しておどろいたのは指導員の人達の力不足ということと、施設全体が生かされてないということでした。そして、短大ということで専門以外の一般教養という部分のロスの大きさでした。文部省の一般大学と横ならびになる必要は全くなく、今という専門士という世界をもっとうち出して行った方がより特徴づくと思えます。最終学歴でもって人を評価する時代が終わり、その人の何ができるかという能力と個性化が問われている現在、技術、技能をベースとした中で新たな着想アイデアの発展と、積み重ねがあると思うと本人のモチベーションも引き出すべく、単位習得の弾力化、画一化をさける工夫が必要でしょう。また、大学院等への進学のも様変化も考慮する必要があるかもわかりません。

S54 * ・私は室内造形科を卒業し現在内装工事の実施設計をしています、できればデザインの仕事もしたいと思っています。現在インテリア科と名前が変えられたそうですが、これから後輩たちが社会に出て幅広い仕事をこなすためにはもっとデザイン的な能力を高める科目が必要ではないでしょうか。これからはセンスが求められると思います。これからの卒業生の活躍に期待します。

// * ・履修学科とは畑違いの方面に勤務していますが、訓練校で学んだ事が時々役立つことがあります。

S57 * ・今はわかりませんが、専門科目でも、もっと選択できてよいのではないかと思います。私が学んでいた頃はすべて必修科目であったため、範囲は広く、浅いものだった様に思えます。二年という時間の中で確実に自分のものとなったものはなかった様に思えます。住宅のプランを立て、平面図まではなんとかこなしても、そこから立面図をおこすにつけて、寸法の取り方等々はつい最近まで一部分では適当になっていたことがあり、とある講習会に参加し、解かった様な状態です。もっと目的を絞れ、身につけれる部分が深ければよかった様に今思っています。

卒業し、建設会社へ入社し、設計室で木造住宅の図書作成し、確認・申請を提出するという仕事をしましたが、細かに教えてくれる人はなく前物件の図書を見て書くことを3年間、しかし詳細図を書くまでには至らずその後は事務職についたり、アルミサッシの施工図のアルバイトをしたりし過ごし、今は、家業が建築業…大工工事という事もあり、私自身もお客さんと接し、計画に参加したりする事もふえ、もっと自分に身につけておかななくてはならない事が沢山ある様に思うようになり、もう30才も超えているのですが、講習会へ出席してみたりとか、資格試験の受験講座へ通ってみたりの日々を過ごしています。学生の頃解らなかったものが今になって解かったりとか、でも二年間は無駄ではなかった様には思えます。

もう少し深く知っていたら…と思う事が時々あるので、自分に必要な科目を絞れていたらと思いました。

// * ・今後の効果的な校運営に資する資料とするとは、具体的にどう言う形として表れてくるのか？

・神奈川校の一部の学科でカリキュラムが整っていない様な情報があつたが、生徒をどの様な人材として、社会に送り出したいのが見えていないのでは。

S57 *・卒業して13年目になりました、今年ようやく独立開業（株式会社として資本金1,500万）致しましたが、独立する前後から学生や、社会に出て1～3年ぐらいの若い方を知人を通して紹介されますが（入社したいとのことで）私の様なまだ独立したての者のところでさえも、そういった就職活動があるという学生にとっては、非常にきびしい就職状況だと思います。

われわれの時代（就職時）では逆に売手市場だったと思われます。去年までいた会社でも環境企画部の部長をしていた手前、面談は数十人いたしました。（数十人の中から若干名入社）つまり卒業して何年かして気づくのですが、学生は学生である以上、教育（知識、技能、技術）を学ぶ事は、最低限習得する事ですが、Q33の質問にもありましたが、要は教育を習得して、自分自身の人生の中でどう位置づけるかのビジョンを若い年代なりに構築できているかが問題だと思います。ちなみに会社の経営する立場になって、その変がいろいろな若い人達に会って一番気になることです。

- // *・職訓短大に対する認識は社会全般的には知られておらず対話の中で、あまり口にする事は少なく、社会経験を話す事が多いように思われます。
- ・私が卒業して思う事は、自分が将来社会に出て何を目標に仕事をすれば良いかという認識を持たずに、学校の単位を取得し卒業する事のみを目標としていた為に、社会へ出てからの身のふりかたに時間がかかり数社を経験し現在に至るが今だに満足していない。これから就職する人達は在学中に目標をしばり（どこの会社でどういう仕事をするか、又特技を身につける）それを中心に勉強し、どん欲にあらゆる情報を収集し対処する方法を見つける事が大切であると思う。
- 例えば、インテリアに関していえば、公的資格を取得する為の勉強をする（パース、試験問題に足したカリキュラム）、又、建築に関しては、二級建築工取得の為の勉強、これらの目的に対するものを増やして、それに呼応する様な実践教育を行ってほしいと思います。（今の職短のカリキュラムについてはまったく認識しておりません）
- 今後のさらなる発展を御祈り申し上げます。

- // *・私の場合、家具製造にたずさわっていますが、右の表に家具製造という項目が無いのはなぜなのか。室内造形科になる前は大工科だったのが今はインテリア科だそうだが、あまり関心を持たれてかないように思われる。聞けば職訓大学校も木材加工科という科が無くなったそうだし、私のたずさわっている仕事などどうでもよいのかなと思う。

S60 *・母校を
応えん
します

- // *・自分が在学中の時は、カリキュラムの方向性が、はっきりしていなくて、中途半端な教育だった。
- // *・職訓短大出というと知識や技能・技術が身について人材が入社したというイメージですが、実際社会に出るとやはり無知、無能に等しく経験と努力がものをいうことを実感しました。（私の場合8年間しか勤めておりませんが…）
- しかし、やはりふとしたところで2年間で広く浅くつまこんだ知識が役に立ったり、実験、実習が活かされたりすることも多々ありました。
- お給料面では短大卒ではありますが、職訓校となると高卒と変わらぬ扱いで技術職でも同じ年の大卒者（短大含む）とかなりのひらきがあるのはくやしい思い出でした。
- 現在子供を持ち専業主婦となっても手に職があるおかげで副業もしていますし、やがて再就職する時でも資格があると有利かと思っています。（実際はきびしいと思いますが）やはりこれもこの短大で援助金を受けながら、まだ自分の道を決めていないにしても、勉強して資格を取った結果今日につながったと思います。
- 主婦となりアンケートには十分お答えできませんでしたが、今後またの発展を期待し、乱文乱筆にて失礼します。

- // *・能力開発セミナーを案内等を卒業生にも知らせてもらいたい。

S60 *・助 言 社会に出たら必ず独立して見せるという気持ちで働こう！
・学校へ 商売の仕方などもおもしろいと思う。

// *・学校では割と広く浅くという感じだったので、会社に入ってから何かあったことがある部分があった。 (特に私は室内造形卒にもかかわらず、建築の仕事をしているので) 他の専門学校とは、その点がちがっているようだ。

// *・充実したカリキュラムで将来、厳しい単位を取得したことは自信になったと思います。ただその道のプロをめざしているので周囲に目をむけて世の中と自分たちの勉強の接点、又は視野を広げるような指導や促す助言なりがもっとあればよかったのではないかと思います。

// *・能力開発セミナーの卒業生にも知らせてもらいたい。

S62 *・卒業して建設会社へ入社して技術検定、1級建築士の免許を取得するとき短大の資格がなかった。

// *・就職する際、選択する職業の幅が狭いと感じました。自分の希望する会社、及び職種に出身大学によって雇用してもらえない状況があることを社会に出てから感じました。いくら技術、能力、センスなどがあって、より一流でより良い会社で生かしたいと希望しても、難しいと思います。卒業して転職する際に、やはり大学によって差別されるのを感じました。面接の時には職訓短大のことは必ずといっていいほど聞かれますし、その際、自信を持って説明しますが、心の中ではハンデを背負っている気分です。確かに「短大どこ？」と聞かれても隠してしまいます。私と同級生の友人も同じだと聞きました。文部省でないと高卒扱いになる会社もあります。名称にも問題があると思います。職業訓練校と比較 (同等と) されるのです。

入学したことを後悔してます。(正直に言って) 社会にはいれば関係ない事だと思ってましたが、学歴はずっとついてまわるものだ実感してます。

S63 *・職業訓練短期大学校を卒業し、社会に出てみて学校で学んでことの大きさに気づきました。いろいろな事に直面した時に自分の記憶をよみがえらせて助かった事が何度もあります。学校に通っていた頃は毎日授業と課題におわればたばたとすごしてしまい、何が大切とか考えずにすごしていました。でも、少しでも知識として身につけていた事をありがたく思っています。職業訓練短期大学校の卒業生として、私はほこりを持っています。他にはない位、いい方針での教育をしていると思います。

// *・(後輩たちへ)

卒業後、就職し自分の希望する部署、職種についたつかないにかかわらず、とりあえず2~3年は頑張ってみる事が大切だと思う。その時点で違った新たな道が開けると思う。それから、学生時代に学んだ専門知識を引き続き伸ばし、自己のものとできるよう、又常に何事もどん欲に吸収しようとする向上心を忘れないでほしい。

・学生生活の2年間素晴らしい環境、教官、施設で過ごせて本当に良かったと真に思う。

// *・こういった形のアンケートに必ず学校名の事が出てくるが、私はそんな事よりももっと考える事は沢山あると思います。名前がダメならさっさと思い切った変え方をしてしまえばいいと思う。社会に出て私がコンプレックスを感じたのは、学校名よりもその中身の(カリキュラム)の方であったと思う。私のいたころの短大はなんか全てが中途半端だったと思う。生徒(学生)は皆どこかで自分の学校をバカにしていたし先生方は、..もちろん良い所も沢山あったとは思いますが…。外の学校のタイプとは全く違う所を目指していながら、内側ではできるだけ外とおなじように、少しでも近くなるようにと努力している様に思え、その為社会に出た時どっちつかずで過ごしてしまい何もしてこなかった2年間にコンプレックス(?)を感じたのだと思う。もし学生の頃の私に学校の目指している部分をもっとはっきりと理解できていれば、私は「〇〇な風な勉強をして、外の新入社員の人とは〇〇な所が違う。」と胸をはれたのではないかと思いますあの頃の自分が残念です。

S63 *・在校期間中に、専門分野の資格取得について具体的に教えたほしかった。例えば、不動産関係の職種希望者には宅建の取得をすすめるとか、建築関係の希望者に建築士資格の取得通信教育をすすめるなど…。

// *・二年間という短い期間で、その科の知識を全て理解しようとしてもやはり無理があると思います。自分のやりたい事についてもっと実践的な事（内容）を取り入れていった方が良いと思う。（特に専門的な知識を学べる授業）例えば、私は内装関係の仕事についているので、教育実習という事で現場見学及現場が始まり、終わるまでを実際に自分で体験できる時間、及科目をつくってあげてはどうでしょうか？（前にもありましたが）企業の協力区は必要ですが。
学校はあくまで学校で、必要な知識を学ぶだけで、実際は職場ですぐに活かせるものではないと思う。一般科目の時間を減らして教本や絵で見るだけでなく、実際のものを見て応用できる力がつくようにした方が良いと思う。浅く広くではなく、深くせまく。

H3 *・職訓短大は、就職する為の学校だと思うが、私の時は一期生だったためか、スケジュールが過密で思うように就職活動ができなかったのが残念だった。もっと、バックアップして、活動しやすいようにすると思う。もし、2年で十分な内容が学べないのなら、3年制にして多少の余裕を持たせるとか。やはり、普通の短大生と比べても、授業の時間が全々違う。

// *・卒業して社会に出てみると、授業で習った「このような事が役に立つのか」と思ったことでも、どこかで役に立つものである。一般教養、専門学科、わずか2年間の間なので真剣に授業をうけたら、きっともっと社会に出てから自分を助けてくれると思う。
後輩のみなさん貴重な2年間大切に頑張ってください。

// *・私は現在、木工事の施工図や家具の設計図を書いたり（私の会社はホテルの仕事が多いのですが）ホテルの客室やレストランのインテリア内装コーディネーターなど幅広く仕事をさせてもらっています。今勤めてから3年になりますが、会社が建築部門をはじめて浅いので、建築工事の専門がいなかったもので仕事はかなりまかされています。何しろ誰にも聞けない状態だったのでわからないことばかりで、まだ失敗がありますが只今奮闘中です。これもチャンスだと思っています。昨年は何とか2級建築士の資格を取ることができ、さらに頑張ろうと思います。

もともと学生の頃から図面を引くのは好きだったのですが、最近は自分の手で物を作ることに興味があって、紙粘土を買ってきたり、針金や布を使ってオブジェを作ったりしています。昔から陶芸をやってみたかったので機会があれば是非やってみたいです。学生の頃にもっといろんな物を使って、物を作るような時間があれば良かったと思います。それと、せっかく建築の勉強をしていたのだから、新しい建築物や、新しい設備等みんなで見学へ行ってみたりしたかったなと思います。（展示会などでもいいと思います）

私はまだ自分がどんな仕事に向いているかはわかりませんが、興味のあることにいろいろチャレンジしてみているうちにそこへ向かっていくのだと思います。後輩の皆さん、何事にもチャレンジ精神で向かって下さい!!そして、職業能力開発大学、短大の更なるご発展をお祈りします!!

P.S.（校名はもっとやわらかくならないのでしょうか？）

? *・私は室内造形科で学び建築業へと初めは進みましたが、学校で学んだことはほとんど役に立たず、こんなことを教えてもらったかな？と思うていどでした。2年間という期間は短く、大まかなことしか出きないという現状はしかたがないことではと思うが、できれば4年間かけて現実に役に立つことを教えてもらいたかったと思います。

? *・私はたいした目的も持たずに室内造形科に入り卒業しました。最初の職場で事務員を4年間やり、それっきり「専門職」という言葉とは無縁となってしまいました。着物の着付けも4年間みっちり勉強しましたが、それも年に2～3回のバイトで生きるだけです。今はすっかり路線変えましてバイク屋です。夫と二人近い将来買いとるつもりで店つとめをしています。だから、あまり参考にならないかと思っています。

？ ＊ ・ 私の場合、卒業してからすぐ父のコネで入社した会社だけが、学校で学んだことに関する仕事でした。その後は全て教育関係の仕事です。でもその間も余暇を利用してトレースの勉強をしたり、結婚相手が建設会社の跡取りだったり、そして今もインテリアコーディネーターの勉強をしたりして、ずっと室内造形科で学んだことを生かしています。私は女であるため、結婚、転居、出産のたびに仕事を変わらざると得なかったのですが、いろいろ転職して大学での秘書業務が一番合っていると感じ、出産後の今でも“子供を預けるよう（幼稚園等）になったらまた手伝って欲しい”とされています。

（教授に頼まれているのはパートの仕事ですが）主人はまだ修行の身ですが、数年後には自分が親の後を継いでいくことになるので、その時にはまた私が職短で学んだことを生かせると思います。

私の場合は周囲の環境に恵まれているのですが、同級生も皆それぞれに活躍しています。文部省管轄の短大卒の者よりもすぐ役に立つと言われ優先してくれる企業は少なくありません。ただ知名度が少ないのが残念です。

このアンケートはやはり今後子供の人数が減り、入学者が減ることに関する対策的な者でしょうか（18歳人口）。私の勤務した大学は2つの私立の四大ですが、どちらも入学定員の確保をテーマに職員で議論したり、またプロジェクトチームを作って対策を練っていました。たまたま私もお手伝いしていた時期もあり少し気になったのですが…、そういえば主人の卒業した大学からも似たようなアンケートが届いていました。今は生まれたばかりの子供の育児に追われている一主婦ですが、少しでもお役に立てたら幸いです。乱筆乱文お許し下さい。

？ ＊ ・ 高校の時機械関係の科から短大では建築関係の勉強、ドラフターで線引きするのは同じでしたが内容は金属から木材に変わり実験内容もにた所もありましたが、チンブンカンブンな時期がありました。自分自身短大ぐらい出ておきたいという気持ちから、通学しやすく授業料が安いということでこの短大を選びました。短大では、先生方も良いし、きれいで住みごこち良い建物、一般科目抜きでは授業も楽しかったこと多かったです。

・ 同窓会参加したいという気持ちはありますが、もうずいぶん年数がたち顔の知らない人達も多く参加しにくい気持ちになります。同期の人達で何年に一回か同級会やってほしいナアと思っています。

＊ ？科（？科）

H3 ＊ ・ 就職活動にて職業訓練校は1社の試験を受け可否をもらい、就職の決定をする為事前に就職先の情報をつかんでいないと、入社してから必ず後悔する。→学校側でもそういう対応が必要。又1社のみでの活動では比較が不可能。

？ ＊ ・ 在学中に学ぶ事がたくさんあったと思うのに私自身目標がなく、ただ凡々と授業を受けていて、貴重な時間を無駄にしていたと思う。学校では、もっと資格を取らせる様な方向でやってほしかった。

？ ＊ ・ 学校側へ

カリキュラム的に2年ではなく3年制（最低でも）としてもらいたかった。

？ ＊ ・ 職短の良さとは、人それぞれ違うと思うので記述式の方と選択と2通り用意した方が良いのでは？